

アビソンフィールド® 耐乾性省管理型改良ノシバ

【特性1】 草高抑制

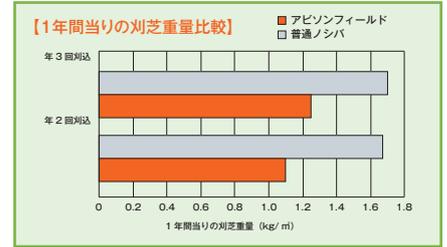
品種特性上、葉幅が広く、初期生育及び春の生育が普通品種に比べて良好で、早期のターフ形成が可能です。また、普通品種と比較して、草高抑制効果があり、省管理・省コスト型のターフといえます。



※数値は、試験区内 10 箇所測定した値の平均値



※数値は、試験区内 10 箇所測定した値の平均値



草高抑制効果によって、右図のとおり、刈草重量についても普通品種と比較して少なく、残材処分についても低減可能です。

【特性2】 耐乾性(乾燥耐性)に特化



左の画像のとおり、普通品種と比較して、乾燥に強く、夏場の灌水頻度の低減や高温によるダメージを受けにくい品種です。

左:メイヤー※1
右:アビソンフィールド
※1 ノシバの品種特性比較の際の指標種



※2 観察者の目視による相対的数値

【特性3】 緑色保持

緑色保持期間が普通品種と比較して多少長い傾向があります。また、冬枯れ時も、紅葉しにくい性質があります。
※地域により差異が出ないこともあります。

下左右写真：つくば市内にて2005年11月18日撮影

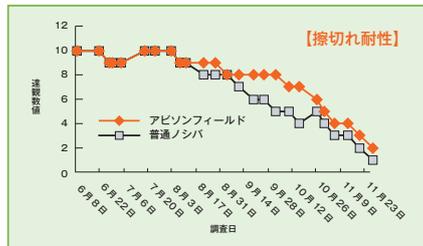


ノシバ(筑波系)



アビソンフィールド

【特性4】 擦切れ耐性



小学校校庭にて試験区を設置。張り芝の後、確実な活着を確認し共用開始。

生育期の夏季までは、大きな差がでないが、越夏後に普通品種は急激に落ち込む。

【特性3】の通り、特色保持に優位性を持つため、秋以降の品質保持がしやすい。

実績



宮城県東松島市内小学校



宮城県内広場

開発・育種経緯

アビソンフィールドは千葉大学と住友林業株式会社筑波研究所が共同開発したノシバ系統の芝の中から、人工地盤や灌水環境の条件が厳しい場所への使用を目的に選抜育成した固定品種です。活着後の初期生育や、夏場の草勢が良いことから、屋上緑化などの薄層緑化への適応や管理頻度の少ない公園などでの省管理対策にも効果的です。